

Vol.2

昭和63年3月1日

校風の基礎づくり

「ミニユニティカレッジめぐり」

淡いサンドベージュの壁に、深いマリブルーの屋根、赤と黒を基調に配し、きりと締まった玄関ファサード、……どちらかと言うと「研究所」と言った雰囲気のある建物で清潔感の漂う近代的建物に、チャイムの音と同時に吸い込まれていく色とりどりの服装の若者たち……そんな光景が、ここ飯田市松尾の明地籍に出現して、既に一年近くになろうとしています。

この地籍には近年、総合グラウンド、体育館等の公共施設や、各企業の工場、事業所等の進出も進み、また、天竜舟下りの弁天港を控えて、人的な交流や産業経済活動の一つの中心となっていました。新たに加わったこの学校によって、地域の様子はまた、大きく変化しつつあります。

一方、百余名の第一期学生を迎えた入学式がつい昨日の様に思い出されますが、早いものですでにこの一年間のまとめの時期となってきました。

学校運営に関しては、いずれも経験の少ないスタッフと、第一期生としての責任ある学生とが丸となって、無我夢中で走り続けて来た。そんな日々の連続でしたが、地域全体から寄せられる期待と注目の中で、地道に、また活気あふれるキャンパスとして育ちつつあります。

殊に、百余名の学生は第一期生としてのさまざまな重圧に耐えながら、真面目に更に積極的に学ぶ姿勢も定着し、情報処理技



術者試験やその他の各種資格試験、検定等でも着々と実力を備えつつあるところです。また、学生自らが責任と主体性を持って、有意義な学園生活を実現しようとの主旨から「学生自治会」も組織され、イベントの企画や運営、キャンパスでのさまざまな問題の検討など、学園環境と校風の基礎づくりへの取り組みが見られます。

こうして、エネルギー豊かな若者の歓声が広がる「飯田コンピュータ専門学校」は、開校第一年度を締めくくろうとしている。真に地域の期待にかなう、ミニユニティカレッジをめざして、その基礎づくりに邁進しています。

期待に応える学校に

学校長 林 研 二



身の引き締まる思いで迎えた開校・入学式から一年、この間にいくつの変化がありました。その中で残念だったことは、已むを得ない理由とは言いがら、六名の退学願いを認めざるを得なかったこととあります。

現在一〇二名が懸命に勉強に励んでおりますので、あと一年有るの短い期間ではあります。所定の単位を取得し、それぞれが目指す資格を取り、卒業の暁には即戦力としてお役に立つ人材となることを確信いたしております。

嬉しかったことは、いくつかの資格試験に多数の学生が挑戦し、それなりに成果を挙げたこととあります。ワープロ・簿記・情報処理技術者・マイコン技術者・秘書技能検定等々、ゆっくり休日曜日の無い状況が続きました。大学の卒業生よりも実務面ではるかに優れた実力の持主として評価を受けるには、公に認められたライセンスを取得することが得策であると考え

るからであります。

さて、新年度の入学募集に關しましては、昨年とは様変わり、大学志向が強く、専門学校第一志望が少いようである。残念に思います。これからの社会は、高学歴の学者や指導者は勿論必要ですが、コツコツと実務を必要にこなしてくれる人が大勢必要になってくると思います。二十一世紀は情報産業の時代だとも言われます。本校で得た知識・技術は即社会のお役に立つし、ひいては自らの生活の糧になるのであります。名を捨てて実を取る選択が賢明ではないでしょうか。

飯田市が本校設立のために四億円の投資をしていただいた所以もそこにあると思えます。コンピュータ産業の発展は、ハード・ソフト両面とも日進月歩であり、通信の発達とともに情報産業の立地が地方へ展開される動きも顕著であります。

本校が当地方の情報化の中核となるべく、講師・学生ともに一段と努力を重ねるつもりでありますので、地域の皆さまの温かいご協力とご叱正をおねがいする次第であります。

最後に、学生諸君の更なる努力を期待いたします。

着々と成果上がる 資格試験にチャレンジ

飯田コンピュータ専門学校で学ぶ目的は、職業や実生活に役立つ技術・知識を習得することで、その目安として、各種の国家資格や検定等があります。学校ではそれらに積極的に挑戦し、パスするよう努力していますが、すでに何回かの各種試験にその成果が見られます。今回は昨年十月の通産省の「情報処理技術者試験」をルポしてみました。

アキシデント続き 情報処理試験

十月十八日、情報処理(第二種)試験に当校から挑戦したのは勢六十二名。早朝の五時四十五分学校集合で六時出発予定が、待ってもバスが来てくれない。ここで最初のアキシデント。三十分遅れでやっと回送された車は、余り立派とは言い難いバスでこれまたガックリ。

何はともあれ時間までに名古屋へと先を急ぐが、途中で道に迷う災難の第二回目。それでも何とか間に合って会場へ滑り込むと早速マーク式の問題に取り組んだ。午後の部は記述式で時間は二時間半。途中で諦めてか、それとも余裕なのか、制限時間前に席を立つ人もちらほら。総ての試験が終了すると、再びバスに乗り込み帰途に着くが最後に極め付けのアキシデント第三弾。高速道路上でのオーバ

ーヒートのエンスト。思い出に残る受験旅行でした。



更に上級をめざし

初めてワープロに触れてから約三ヶ月、七月のワープロ検定三級に合格と知らされた



OAビジネス科
1年 河合良枝

喜びの合格者

- ☆第2種情報処理技術者試験(通産省)
小原 康史(情報処理) 波多野孝幸(情報処理)
☆ワープロ技能検定3級(日本商工会議所)
北沢 範子(情報処理) 北原あかね(情報処理)
鈴木 智子(") 河合 良枝(OAビジネス)
桐生 恵(OAビジネス) 中島美恵子(")
西 弓美子(") 宮沢 淳子(")
松村 祐子(") 吉澤八千江(")
- ☆ワープロ技能検定4級(日本商工会議所)
岡本 高明(情報処理) 宮下 保(情報処理)
清水 文枝(OAビジネス) 西川 悦子(OAビジネス)
松島 嘉子(") 吉川美奈子(")
米山須賀子(")
- ☆簿記検定2級(日本商工会議所)
竹村ひとみ(情報処理) 野澤 礼子(OAビジネス)
☆簿記検定3級(日本商工会議所)
小原 康史(情報処理) 熊谷めぐみ(情報処理)

(6ページ下段に続く) ※

株ネットワイク・サプライ

JR飯田線鼎駅から西方へ約二百メートル程進むとキラヤ鼎店がある。ゆったりと駐車場スペースを持つ郊外ショッピングセンターだが、この裏手の階段を登ると「ネットワークサプライ」の玄関だ。余り広くない二階階段の踊り場から、大挙して訪れた失礼に多少恐縮しながら、「ご免下さい、コンピュータ専門学校ですが」とドアを押すと、「いらっしやい、どうぞ」と奥から社長夫人らしい方の声、玄関脇の応接室兼ミーティングルームへ招き入れて下さった。

勧められるイスに腰を下して見回すと、奥の部屋には、パソコンや各種のメーター類、部品、工具、図面などが、決して整然とは言い難い状態で溢れている。本当にここで、聞くところの「光通信コントローラ」等の最先端機器が作られているのだろうか、と訝りながら社長さんの話を聞いた。

村松社長さんは未だ四〇才には少し前の青年社長で、非常に優しく温かな感じの方だ。「どの様な製品をつくられているのですか」との問いに、研究室から新製品という、通信コントローラをとり出して来て、熱心に説明を下された。勉強も半ばの我々には難解な専門用語も多く、今一つ理解し難い部分もあるがそれだけに、非常に優れた開発であるらしい、という点では腑に落ちた。研究室を案内されながら「こんな所からでも、他社に負けない製品の開発が可能なのですよ、コンピュータは技術と智慧の世界」と、自信と抱負を語られる社長さん。

「是非、我々と一緒に、チャレンジ精神、研究心を發揮してもらいたい、こじんまりとした人間にならないように」と、学生に対する期待を述べられた。

カメラ訪問 No.1 おじやまします

「いらっしやい、どうぞ」と奥から社長夫人らしい方の声、玄関脇の応接室兼ミーティングルームへ招き入れて下さった。

勧められるイスに腰を下して見回すと、奥の部屋には、パソコンや各種のメーター類、部品、工具、図面などが、決して整然とは言い難い状態で溢れている。本当にここで、聞くところの「光通信コントローラ」等の最先端機器が作られているのだろうか、と訝りながら社長さんの話を聞いた。

村松社長さんは未だ四〇才には少し前の青年社長で、非常に優しく温かな感じの方だ。「どの様な製品をつくられているのですか」との問いに、研究室から新製品という、通信コントローラをとり出して来て、熱心に説明を下された。勉強も半ばの我々には難解な専門用語も多く、今一つ理解し難い部分もあるがそれだけに、非常に優れた開発であるらしい、という点では腑に落ちた。研究室を案内されながら「こんな所からでも、他社に負けない製品の開発が可能なのですよ、コンピュータは技術と智慧の世界」と、自信と抱負を語られる社長さん。

「是非、我々と一緒に、チャレンジ精神、研究心を發揮してもらいたい、こじんまりとした人間にならないように」と、学生に対する期待を述べられた。



地球の裏側までも突き進んで行く様な探求心、チャレンジ精神を持って欲しいと語る村松社長さん。

この研究室から、GPN ETmpx-64や、GP NETlist-80などのインターフェースやコントローラが生み出される。

プロフィール

創業	昭和58年2月
所在地	飯田市鼎中平1938
TEL	(0265) 52-1788
代表者	村松 芳博
資本金	13,000千円
事業内容	営業品目 インターフェース、通信コントローラ等のコンピュータ周辺機器開発 ・製造販売
従業員数	6名
売上高	180,000千円

近い将来深刻な人材不足が予想されるコンピュータソフトウェア技術者（SE、プログラマーなど）の養成のため、通産省が新たな制度としてスタートさせた「情報化人材育成推進事業」の育成連携機関として、当飯田コンピュータ専門学校在学が、その指定を受けることと決定し、委嘱状が交付されました。

念願の通産省委嘱校に

——旧情報大学校に指定される——

者、業界等の多くの注目を集めていた制度で、当校でも逸早く

この情報を入手した段階から、飯田市長さんや会議所の会頭さん等地域の関係の皆さんの力強い応援をいただいて、指定に向けて運動を展開して来ました。今回、全国に約二五〇校とい

これは、この制度が検討される時点では「情報大学校」構想と呼ばれていたもので、関係省庁をはじめ、情報処理教育関係報処理教育関係の研究所での教員の研修が受けられる他、国の施策

や業界の動向等の情報がタイムリーに提供され、情報処理教育に関する適切な指導が受けられるなどさまざまな予定され、教育内容の充実、質の向上に大きな期待が寄せられています。国の認定という非常に意義の大きなこの委嘱に、学校関係者は一同にこの上ない光栄を喜び、同時に、選定の中で評価をされた、公設民営で地域に密着した教育機関としての教育理念や、協賛会との密接な連携を、今後も大きな学校運営の指針として委嘱校に恥じない学園づくりに努めていきたいとしています。



昭和63年度入学生高校別出願者一覧表

S 63. 1 現在

(地区) 高校	出願者数	(地区) 高校	出願者数
(飯田・下伊那)		(上伊那)	
阿智高校	9	赤穂高校	3
阿南高校	2	伊那西高校	1
飯田高校	6	駒ヶ根工業高校	1
飯田長姫高校	6	(中 信)	
飯田工業高校	8	岡谷南高校	1
飯田女子高校	2	茅野高校	1
飯田風越高校	16	富士見高校	2
下伊那農業高校	2	梓川高校	1
松川高校	10	松商学園	1
		松本工業高校	1
		穂高商業高校	1
		(合 計)	74

飯田コンピュータ専門学校 協賛会会長交代される

新会長 中島 咸人 さん
前会長 鈴木 明男 さん



新会長 飯田商工会議所会頭

学校の発展と共に

中島 咸人

飯田コンピュータ専門学校協賛会（会員数百八十一企業、団体）の設立当初の会長を務められた鈴木明男さんは、去る十二月二十一日をもって飯田商工会議所会頭の要職をご退任になりました。それに伴って、当協賛会の会長も、新たに商工会議所会頭に就任の、中島咸人さんにバトンタッチされることになりました。前会長さんには、協賛会の組織化等を通じ、学校の開校、運営にも一入お骨折りをいただきましたが、中島新会長さんにも引き続き学校発展と地域の活性化のため、ご指導ご活躍を期待させていただきます。

折からいよいよ新年度は、第一期学生の就職活動へ向けての重要な年にあたります。会員の皆さんと共に学校を支えていきたいものです。

おられますが、時宜を得て、非常に多くの地域の皆さんの期待と共に開校したこの学校を、側面からバックアップし、優秀な人材を数多く輩出してもらうことは、我々個々の発展にも密接に関わることであり、ひいては地域の活性化、発展に繋がるものと期待されます。

さて教育事業の成否は輩出される学生の能力と質に懸かっていると云えましょう。即ち能力とは、この情報化の時代に対応し得る中広い知識・技術であり、又、質とは創造力と積極性であり、人間性豊かな人格のことでもあります。



大いなる発展を

鈴木 明男

飯田コンピュータ専門学校が設立され、一ケ年を迎えるこの僅かな期間に、名実共に地域に密着し地域産業活性化の拠点として止みません。

林校長先生はじめ、先生方には特にそこに意をもち、ご指導に当っておられますことを私は時折学校を訪ねたとき感じております。又、学校見学会、そして一般公開講座などに企業側からの参加者が予想外にも多い数が出す通り企業側は学校として学生に大きな期待と希いをもっている表れでありまして、殊更にこのコンピュータ専門学校が開校された意義は大なることと強く感じております。

昨年十二月二十二日の飯田商工会議所代議員総会で、第十代の会頭として推挙され、その任にあたることになりました。

商工会議所会頭として、さまざまな団体や会合等へ出席させていただくこととなりますが、中でもこの飯田コンピュータ専門学校協賛会は、前会頭鈴木さんの肝いりで組織されたところから、会員の皆さん更には関係の方々のお力添えをいただいで、育て上げていきたいものと考えております。

会則の目的に「コンピュータ専門学校が地域の発展に寄与できるように協力する」と謳われて

X'masパーティーで1987にさようなら



手造りのクリスマスパーティーで1987年の締めくくりを。二人羽織りの熱演と、ピンゴゲームに一喜一憂の学生と教職員。いろいろな出来事のあった開校初年を象徴するかのよう。



地域活動にも積極的参加



りんごん、りんごん、はいおいなノの軽快な音頭に乗って飯田市街地を練り歩く踊りの連。八月八日の「飯田まつり」には学校連をつかって参加しました。学生から募集したデザインでそろいのTシャツの男性群と、ゆかた姿も可憐な女性群。仕度は最高でしたが、練習不足か足並が今一歩不揃いの感じでした。

りんごんのTシャツで
飯田まつり

スケッチ

キャンパス



飯田市制50周年記念事業 —親子科学館—

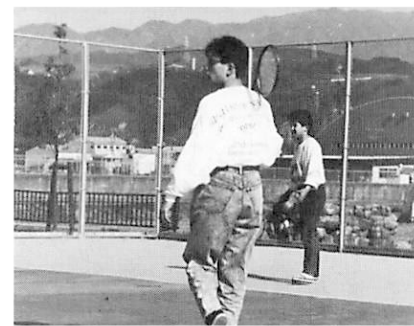
会場にはいろいろなコーナーが設けられましたが、中でも人気を集めたのは、パソコンを使ったゲームで、小学生などが慣れた手つきで真剣に取り組んでいました。オセロゲームの前では、何十分も頭をひねり、最後には「完敗だ、さすがはコンピューター」と苦笑いしながら帰る人も見られました。

飯田市制50周年記念の「親子科学館」が十月二十四、二十五日に開かれました。初日はあいにくの雨で出足も今一つでしたが、二日目は日曜日ということもあって大勢の親子連れでにぎわいました。

ゲームコーナーに 人気集中!



いました。また、コンピュータに氏名や生年月日などを入力して占う姓名判断の前にも人が集まり、出てきた結果を手にとり、うなずいたり、首をかしげたりする姿も見られ、大人の人たちも楽しめたようです。その他、電子黒板、テレビ衛星放送なども、訪れた人の足を止めていました。会場では、当校の先生や学生たちが、子供たちにやり方を教える姿も見られ、このようにふちと交流がもたれようです。また、この「親子科学館」を通じて、普段あまりコンピュータに接する機会がない人も、ゲームや親子ワープロ教室などで直接コンピュータに触れることにより、楽しみながらコンピュータに親しむことができたようです。

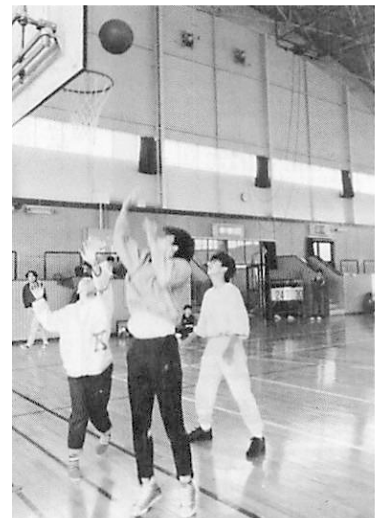


サークル紹介 「テニス教室」

あなたもラケットを握ってみませんか。サークル活動の一つとして始まった「テニス教室」。指導者は校内随一の名プレイヤー久保田(真)先生だよ。

全校参加の 学園祭

ナイス、ショット! 延々7時間、出っぱなしの選手も。日頃のウザ(?)を晴らすかのように。



スポーツに汗を流し

焼肉でスタミナ補給

焼肉パーティーの準備完了。さあ、ジュースで乾杯を、と突然のドシャ降り。雨の中のバーベキューもまたおつまもの、何たってみんな若いんだもん。



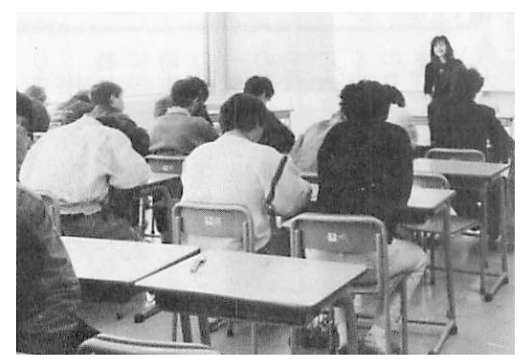
おと五 みおと電五 白銀舞う?

新調のスキー用具を肩に、スキーウエアでポンポンのバッグを片手に、三々五々集まる「スキー合宿」参加者。あいにくの雪不足の今シーズン当日まで関係者はやきもきさせられたが、五竜とおみには少し新雪も積り、ゲレンデには大きなお尻の形の花が満開。



もちろん真面目に 勉強も

学生の本分は勿論勉強、情報処理技術者をめざして猛勉強中。コンピュータ技術のみならず、幅広い知識と豊かな人間性を備えた社会人としての勉強にも力が注がれています。



先生・おねがい

〇〇〇の授業は、専門的な用語がビシバシ出て来ておもしろい。最先端の技術を学んでいるのだから難しいのはあたりまえだけど、説明はもっとかみくだいてしていただきたい。(M男)

△△先生！ Wボードの字を消すのをもう少しゆっくりにして下さい。お願い！ノートを取る時間を与えて！(S子)

もっと実験を取り入れてやって下さい。(O男)

いつもおもしろい顔の□□先生。たまには優しくほえて下さい。勉強の中味がおもしろいんだから、せめてお顔はニコリと、そうしたらアクビも少しは出なくなるんじゃないかしら。(H子)

先生、課題が多すぎる！(S男)

すべて君たちのためなのだから(天の声)

〇〇〇、△△△は音声を変えてお届けしています。

サロンは情報交換の場。できるだけサロンで過ごす時間を多くすること。(但し、授業をサポートしていると単位に影響します)車やバイクの情報・アルバイト情報 etc いっぱい。(E男)

一杯50円也のホットコーヒーにジュース。どこにも取れない格安のドリンクコーナー是非ご利用を！(自治会)

勉強も大切だけど、サークル活動もやろうよ！今アマナムクラブ準備中。入会お待ちしております。(サークル委員会)

休まず、遅れず、のんびり行こうよ人生は。(F男)

—そんなこと言っているのかな？2年なんてあっという間だよ。—(天の声)

4時10分のチャイムが鳴ったら若者は街へ行こう。街にはいいこといっぱい！(K子)

—たまには私を使って下さい。私はいつでもあなたを歓迎—(実習室)

玄関横の掲示板は必見！テストの成績発表ばかりではありません。あなたの生活を豊かにする情報も。—たまにはアートの待ち合せの伝言があるかも—(N子)

このコーナーは、あなたの卒直な意見をつづる、あなたと私のふれあいの広場です。としとしお声をお寄せ下さい。(編集部)

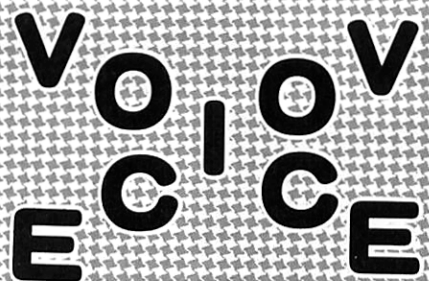
これはおもしろい・楽しいよ

難しい講義の後はこれに限ります。テニスコートでスカットぶつ飛ばそう。(H男)

□□先生の授業は家族だんらんの暖かさがあっていい雰囲気です。(O子)

講義と実習の連続で体をもて余しきみ、若い僕等はスポーツも大切、大いに体を動かそう。(F夫)

職員室は積極的にノックすべし。授業には無い先生の優しさに会える。たまにはテストの範囲も内緒で教えてくれるかも。(K男)



私、〇〇さん素敵だと思うなー。私はダンゼン△△さんよ。……この胸の内、いつ告げようかしら……。(M子・A恵)

最近オレ思春期なの、誰かニキビにいい薬おしえて。(G郎)

せっかく稼いだアルバイトの給料受け取りに行つて、駐車違反で5倍もの反則金をとられてしまって……。あ〜頭痛い。(I男)

私の悩み聞いて下さい

ひとつこと・ふたこと ご忠告とご推薦



- ①カーブミラーが見にくい 通行注意！
- ②一時停止の交差点。スピード控えて。
- ③ビニールハウスで視界悪し。安全走行を！
- ④狭い橋。ハンドルを切る時は慎重第一。
- △コーヒーの美味しい喫茶店。(学生大歓迎)
- △グラウンドや体育館でいい汗流そう！
- △ラーメンいっちょよう！顔なじみにはチャーシューが厚い？

☆簿記検定3級 (日本商工会議所)

- 波多野孝幸(情報処理) 奥田富貴子(OAビジネス)
- 金原あい子(OAビジネス) 河合 良枝(")
- 京沢かつ恵(") 桐生 恵(")
- 久保田まるみ(") 佐々木和恵(")
- 清水 文枝(") 西 弓美子(")
- 松島 嘉子(") 宮沢 淳子(")
- 山崎恵美子(") 吉澤八千江(")

☆秘書検定3級 (文部省)

- 奥田富貴子(OAビジネス) 金原あい子(OAビジネス)
- 河合 良枝(") 京沢かつ恵(")
- 桐生 恵(") 久保田まるみ(")
- 佐々木和恵(") 清水 文枝(")
- 西 弓美子(") 松川 智恵(")
- 野澤 礼子(") 宮沢 淳子(")
- 宮坂 千穂(") 宮脇 喜子(")
- 堀内千代子(OAビジネス) 山崎恵美子(")
- 松村 祐子(") 吉川 千恵(")
- 米山須賀子(")

☆情報処理技術者能力検定試験

- コンピュータ3級 (情報処理教育普及協会)
- 小原 康晴(電子情報) 金原あい子(OAビジネス)
- 小室 康彦(") 久保田まるみ(")
- 中島 伸剛(") 清水 文枝(")
- 林 喜久夫(") 中島美恵子(")
- 平林 利生(") 西 弓美子(")
- 宮外 雅秀(")

☆簿記検定4級 (日本商工会議所)

- 宮下 保(情報処理) 堀内千代子(OAビジネス)
- 松川 智恵(OAビジネス) 松村 祐子(")
- 宮脇 喜子(")

いま、時代は私たちがめもの!?

就職をとりまく環境とその実情

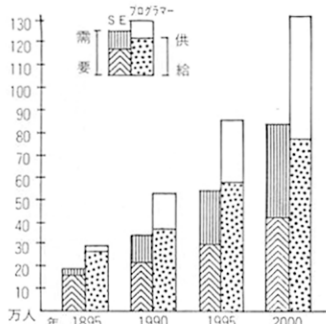
通産大臣の諮問機関の産業構造審議会からは、西暦二〇〇〇年には我が国のソフトウェア技術者は九十七万人も不足するであろうとの予測が発表され、更に先の未来予測では地球上の全人口がソフトウェア開発にあっても人手不足になる、とも……。前途洋々といわれる私たちの目指すコンピュータ技術者の将来。目前に現実として関わって来る就職状況等の問題として考えてみましょう。

ソフトウェア技術者が不足!

左のグラフは通産省機械情報産業局から発表されているソフトウェア技術者の需給バランスを表わす(予測)もので、このグラフでは、日進月歩のハードウェアの技術革新の反面、その機能を引き出して利用するシステム設計とかプログラミングと云うソフトウェアの開発技術を担当エンジニアの絶対的な不足を予測しています。

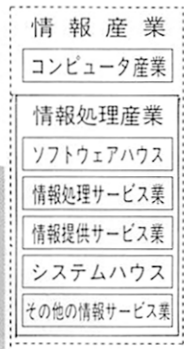
ソフトウェア産業・コンピュータ産業の顔ぶれ

コンピュータの驚異的な普及は、膨大なソフトウェアの需要を生み、これを担う産業(企業群)は多彩化の一途をたどっています。



ソフトウェアの開発や販売業務
 プログラム開発、作成などソフトウェアの開発や販売業務
 情報処理サービス業
 受託計算サービス、キーパンチ、マシンのタイム販売やシステムの管理受託等の業務
 システムハウス
 マイクロコンピュータの応用システムや機器の研究、開発、販売等の業務

ソフトウェア産業とはどの様な業種を示すのか。それは、非常に複雑多岐に亘り、また次々と新たな企業が台頭して業務分類が困難であるのが特徴とさえ言われていますが、一般的には下図のように分類されています。



情報提供サービス業
 データベースサービスなど、情報提供業務
 その他の情報サービス業
 市場調査、世論調査などの各種調査やシンクタンク業務

勿論、コンピュータ関連業務は更に中広く多彩だ。

この様に専らコンピュータに関わる業務を見ても、極めて幅広く更に奥も深いその多彩な顔

話題あれこれ

●私たちにとって最も力強いのは、飯田市などの自治体、農協や商工会等の団体、そしてさまざまな業種の有力企業百八十名の会員で構成される「協賛会」の存在です。

●電話で「東京の〇〇〇です」と、横文字の会社名。どうもコンピュータ関連の会社らしい。お話を伺うとソフトウェアの重役さんで飯田のご

出身とか。早速学校案内を郵送したところ丁寧な礼状と共に是非卒業生を採用したいとのこと。

●コアグループの種村代表はじめ全役員は、去る十二月十八日米飯、当校で役員会を開催。明春の事業所開設に備え近くその準備に着手したい、飯田をマイコン開発の拠点に、とその構想と計画が発表された。(地方での役員会は全く異例のこと)

ぶれに驚くばかりですが、もっと一般的には、あらゆるジャンルのあらゆる職場でコンピュータとの関わりは日常的なものです。例えば工場での自動化、省力化の機器やシステムの運用管理として、また、サービス業でのさまざまなデータの処理や管理に、更に、パソコンやワープロを駆使する事務業務など、最早コンピュータと関わりのない職場は考えられないと言っても過言ではありません。

第一期生の就職・進路の問題に関して学校では、新年度から専任の就職指導担当者を置いて万全を期する計画です。また、当校は「無料職業相談所」としての事業も可能になりますから安定所との密接な連携のもとに適切な指導が期待されます。

コアグループと地方自治体による所謂「公設民営」形式で開設された第一号学校で、私たちの一番上の姉さんにあたります。帯広市は、郵政省のテレピア(未来型コミュニケーション都市)構想や、北海道のINS(高度情報化通信システム)モデル都市にも指定されていて、情報化時代への積極的な対応を図るため、その中心となる人材育成機関として、このコンピュータ専門学校が開校されました。

姉妹校を尋ねて

帯広コンピュータ専門学校

所在地 北海道帯広市稲田町 基線6-144
 電話 0155(48)6000
 学校長 高井正臣

設置学科・定員
 システムエンジニア専攻科 40名 3年制(63.4から)
 情報システム工学科 80名 2年制
 OAビジネス科 40名 2年制



このように、地域情報化、地域活性化の拠点としての機能を發揮したいとする理念は、私たちの学校にも最も大きな柱として引き継がれています。

広々とした敷地にゆつたりとスペースをと

った教室や実習室で、北海道ならではのゆとりある学園、更にコアグループが開発したコンピュータによる集中コントロール方式の電気暖房設備など、快適な環境でうらやましい限りです。

第一期学生の進路も早々と一〇〇パーセント完全就職が決定し、二年生は残り少い学園生活を思い切り満喫している様子です。私たちが来年は、是非あやかりたいものです。

HOLLIERNE

専任教員着任

いよいよ四月には第二年度の学生も入学し、二年制の専門学校としての体制に入ることになりますので、新年度を控え、教員スタッフの充実が図られます。併せて、就職活動に対応するための機構も整備され、ここにも専任の担当職員が配属されることになっていきます。

すでに先頃からこの内三名の教員が着任し、四月へ備えての業務に就いていますのでご紹介します。

- ◇橋本 勝行(一月一日採用)
工学院大学卒 工学士
ソフトウェア担当
- ◇下平 達郎(二月一日採用)
愛知工業大学卒 工学士
ハードウェア担当
- ◇松島 弘明(二月一日採用)
茨城大学卒 理学士
ハードウェア担当

なお今後、三月に教員一名、四月には教員と就職担当職員各一名が着任します。

皆さんどうぞ宜しく願います。



盛況!

「公開講座」

地域の一般の方々を対象とした講座「パソコンの操作とベシック言語の入門」が開催の運びとなりました。これは、特に地場産振興センターと協賛会の皆さんのご協力のもとに企画され、二十名定員の募集に八十七名もの大勢の応募があり、急きよ定員を三十名に増し、更に一期と二期に分けてコースを設けて実施してきました。



十代から五十代後半と非常に幅広く、ユニークな講座の開催となりました。仕事を終えた夜間の講座に自主的に出席されるだけあって、欠席等も少く、皆さんの目が輝いています。

ワープロ講座も 負けずと

こちらの方は、飯田市勤労青年ホームの主催する教養講座の一環で、二十代の勤労青少年が対象。ワープロ技術を短期間(二時間十五回)で身に付けようとする講座。インストラクターの先生も、受講生と同じピカピカの二十代で、和気あいあいと授業が進められていました。

伝言板

- 3/11 62年度授業終了
- 3/12~3/18 学年末一斉試験
- 3/25 62年度終業式
63年度入学生一般応募締切
- 3/30 一般応募者入学選考
- 4/8 63年度入学式
- 4/9 オリエンテーション・健康診断(1年生)
- 4/11 健康診断(2年生)
- 4/12 授業開始

学校だよりの題字をUP-LE(アップル)としました。

UP-LEはりんご並木に象徴される飯田のりんご[APPLE]であり、そして、伸び上がり常に向上する[アップする]UP-LEです。どうぞ、みなさんでこのUP-LEを育てて下さい。

Vol.1 プログラム

コンピュータは、仕事の内容を自分で考えて自発的に処理する能力はありませんが命令を与えられるとそれを極めて忠実に実行してくれます。

ですから、コンピュータに仕事をさせるためには、情報(命令)として、データやプログラムを入力してやる必要があるのです。

プログラムとは、コンピュータに行わせる仕事の内容を細かに分析し、その一つひとつの事柄に対する命令を順序よくまとめた「処理手順」のことで、この命令の集まりは、CPU(シーピーユー・コンピュータの頭脳部)に取り込まれて制御回路に送られます。その情報によってコンピュータの各部に命令が発せられるのです。

プログラムはプログラム言語によって作られますが、最終的にはすべて機械語に変換されて各部に命令されます。なぜならばコンピュータは、1と0で構成される機械語しか理解できないからです。

いろいろなプログラミング言語



プログラミング言語には低級言語といわれる機械語アセンブリ言語と、高級言語といわれるベシック、パスカル、コボル、フォーTRANなどがあります。なかでも一般的なじみの深いのはBASIC(ベシック)ではないでしょうか。

コンピュータに関するご質問等は気軽に学校までお寄せ下さい。(教務室 0265-22-5111)

ビデオプロジェクト シオン導入

シオン導入

今日ではさまざまな教育の現場に、視聴覚機器・情報機器の導入はめずらしくも無いが、これだけ大画面のビデオプロジェクトシオンはホテルの大宴会場でお目にかかっただけだ。



ビデオ教材等を活用し、多人数の集中講義などには最適で、姉妹校の全校に設置されることになったそうです。近い将来は放送衛星を利用した同時授業も行われることになること。

編集後記

いきました。気が付くと既に三月。後僅かで、開校初年度の昭和六十二年度も終了です。

この間、何をしていたのだからと振り返ってみると、ただひたすら勉強勉強の連続(?)。そんな訳で、皆さんから寄せいただいた原稿や我々の取材も、残念ながら再編集の対象となってしまうものも多く、お詫びいたします。

ただ、幸か不幸か大変嬉しいホットニュースを載せることが出来ました。通産省の指定校にふさわしい学園づくりは、私たち全員の責任でもあると思います。四月からの新入生と共に、楽しく活気あるキャンパスを造っていきましょう。

何とか、親しみ易い新聞づくりを、と知恵をしばって見ましたが、いたずらに時間ばかりが過ぎ去ってしまい、発行予定を大中に遅れることとなってしま

(広報出版委員会)